

精神科領域専門医研修プログラム

- 専門研修プログラム名：岐阜大学医学部附属病院連携施設精神科専門医研修プログラム
- プログラム担当者氏名：深尾 琢
住 所：〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸 1-1
電話番号：058-230-6265
F A X：058-230-6266
E-mail：fukataku@gifu-u.ac.jp
- 専攻医の募集人数：（ 10 ）人
- 応募方法：
履歴書を下記宛先に送付の上、面接申し込みを行う。
宛先：〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸 1-1
岐阜大学医学部附属病院 精神神経科医局内 深尾 琢
電話：058-230-6265
FAX：058-230-6266
担当者：深尾 琢（医局長）
- 採用判定方法：
科長・医局長が履歴書の記載内容と面接結果に基づき審査を行い、採用の適否を判断する。

I 専門研修の理念と使命

1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

3. 専門研修プログラムの特徴

岐阜大学病院は明治8年に岐阜県公立病院及び附属医学校として開設し、教育、研究、医療を支えてきた岐阜県唯一の医学部附属病院である。昭和26年に精神科初代教授が着任して以降は、精神医療の分野においても常に岐阜県の中核的な役割を担っている。当教室では、これまで岐阜大学の出身者のみならず他大学の出身者を幅広く迎え入れ、様々な領域に対応できる多様な人材を県の内外に輩出してきた。

現在、岐阜大学病院の精神科は37床の半閉鎖病棟を有しており、有床総合病院精神科の責務として器質性精神障害の治療を引き受けている。さらに、岐阜県での修正型電気痙攣療法を長年にわたり牽引しており、週8の手術枠を常時確保している。最重度の自傷を含む身体合併症についても、院内の高次救命救急センターと連携しながら極めてスムーズに治療に当たることができている。他方、大学病院でありながら児童思春期から老年期まで多様な患者層が受診し、軽症うつ病や適応障害などの **common disease** が多数紹介されてくることも特徴の一つである。専攻医はこうした患者の主治医となり、教員の指導を受けながら検査や薬物療法、精神療法を行うことで、専門医や精神保健指定医に必要な症例を約1年で集めることができる。

当プログラムの連携病院には、有床総合病院精神科である岐阜市民病院や、単科精神病院である公益社団岐阜病院、岐阜南病院、黒野病院、各務原病院、大垣病院、養南病院、不破ノ関病院、のぞみの丘ホスピタル、慈恵中央病院、大湫病院、聖十字病院、須田病院、南ひだせせらぎ病院、犬山病院が加わっている。これらは岐阜県内の有床施設の大半と隣県の1施設で構成されており、アルコールや認知症の専門医療機関をふくんでいる。専攻医は多様な施設から研修先を選択することで、精神科医に必要な幅広い知識を習得することが可能となる。

人間は物質として構成されると同時に、心を持つ存在である。身体科での中心的な課題は生体物質である身体の仕組みと治療法を探究することであるが、精神科では生体物質としての脳を極めるだけでなく、言語を用いるがゆえに生起する心をいかに理解し扱うかが問われる。精神の物質、心としての二面性の問題に真正面から取り組むことこそが身体科にはない難しさであり、魅力でもある。当プログラムは、多彩な臨床機会を通して精神の謎と向き合い、先輩達と語り合いながら、共に深めていくことのできる人材を持ち望んでいる。

II. 専門研修施設群と研修プログラム

1. プログラム全体の指導医数・症例数

- プログラム全体の指導医数：75人
- 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	4569	1195
F1	969	489
F2	8819	3855
F3	9694	1533
F4 F50	5808	384
F4 F7 F8 F9 F50	4860	502
F6	268	67
その他	3679	203

2. 連携施設名と各施設の特徴

A 研修基幹施設

- ・施設名：岐阜大学医学部附属病院
- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：吉田和弘
- ・プログラム統括責任者氏名：深尾 琢
- ・指導責任者氏名：深尾 琢
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 37 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	68	15
F1	26	3
F2	307	46
F3	429	66

F4 F50	483	14
F4 F7 F8 F9 F50	119	7
F6	45	2
その他	146	19

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は 606 床を有する岐阜県唯一の医学部附属病院であり、精神科は 37 床の半閉鎖病棟を有している。精神医療の分野において常に岐阜県の中核的な役割を担っており、身体科と連携して器質性精神障害や身体合併症の治療に当たっている。また大学病院でありながら児童思春期から老年期まで多様な患者層が受診し、修正型電気痙攣療法が必要な重症例以外にも、軽症うつ病や適応障害などの幅広い症例が多数紹介されてくることも特徴の一つである。他大学と比較して医局が小規模であるがゆえに、専攻医は 1 年目から自らが主体となって患者を担当することにより、実践的な研修を受けることができ、専門医や精神保健指定医に必要な症例を約 1 年で集めることができる。

B 研修連携施設

① 施設名：のぞみの丘ホスピタル

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：児玉佳也
- ・指導責任者氏名：児玉佳也
- ・指導医人数：（ 8 ） 人
- ・精神科病床数：（ 310 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	228	143
F1	11	13
F2	79	314
F3	120	64
F4 F50	258	28

F4 F7 F8 F9 F50	352	41
F6	8	4
その他	157	31

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

これまで、急性期病棟と、地域生活支援センターをはじめ諸施設を展開して社会復帰、地域生活支援活動に力を入れてきており、岐阜県中濃地域における精神医療の中核を担っている。また、発達障害専門外来と強度行動障がい医療支援センターの指定を岐阜県から受けており、同地域の発達障害診断、治療の拠点となっている。さらに、物忘れ外来、認知症疾患治療病棟、老人保健施設（認知症専門棟）を持ち、岐阜県から認知症疾患医療センターの一つを受託し、県下随一の活動性を保持している。法人理事長を一にする最寄りの総合病院は、MRI、SPECT、PETを有しており、のぞみの丘ホスピタルにおける初診の認知症のほぼ全例にこれら設備機器を使用して最高度の画像診断を行っている。以上から、一般精神医療、認知症領域、発達障害関連について充実した臨床経験が可能である。

② 施設名：医療法人杏野会 各務原病院

・施設形態： 私立単科精神科病院

・院長名： 天野宏一

・指導責任者氏名：天野雄平

・指導医人数：（ 1 ）人

・精神科病床数：（ 127 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	28	7
F1	395	249
F2	398	130
F3	672	131
F4 F50	275	38

F4 F7 F8 F9 F50	336	51
F6	8	1
その他	2165	90

外
科
難
等

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

一般病床 30 床の併設によりアルコール依存症や身体合併症への治療等、専門的な立場から総合病院的な患者対応力を修得します。

アルコール依存症分野では、治療プログラムを用いて入院での解毒、教育と来での断酒維持及び自助グループ等の心理社会的療法に力を入れています。内科病棟併設による身体疾患合併例の受け入れ、許可制の特殊薬クロザピンによる治性統合失調症の治療、また、難治性うつ病に対する修正型電気けいれん療法先進性の高い医療の取組みを行っています。

③ 施設名：岐阜市民病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：富田栄一
- ・指導責任者氏名：柴田明彦
- ・指導医人数：（ 2 ） 人
- ・精神科病床数：（ 50 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	109	24
F1	83	20
F2	1220	234
F3	1326	150
F4 F50	1058	125

F4 F7 F8 F9 F50	1134	137
F6	20	3
その他	139	40

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は609床を有する総合病院であり、身体合併症を併存する精神疾患を始め多彩な疾患・症例を経験することが可能である。50床の精神科病棟を有しており、統合失調症、うつ病、児童思春期症例、認知症を含む多彩な精神疾患の入院治療の実践経験を積むことができる。またデイケアセンターを有しているため、急性期のみならず慢性期の治療を実践することが可能である

④ 施設名：岐阜南病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：大野智裕
- ・指導責任者氏名：大野智裕
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 194 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	12	5
F1	2	13
F2	266	255
F3	142	19
F4 F50	90	1
F4 F7 F8 F9 F50	56	3
F6	5	11
その他	52	5

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

外来では職場のメンタルヘルスに関する患者。入院では慢性期の

統合失調症の患者が比較的多い。

⑤ 施設名：公益社団法人 岐阜病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：鈴木祐一郎
- ・指導責任者氏名：吉田 優
- ・指導医人数：（ 10 ）人
- ・精神科病床数：（ 559 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	441	175
F1	40	20
F2	1063	556
F3	906	198
F4 F50	455	41
F4 F7 F8 F9 F50	622	76
F6	34	8
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

岐阜市北東部に位置する当院は 10 病棟、定床 559 床を擁し、2010 年には岐阜県内で初めての精神科救急入院料病棟、2011 年には認知症疾患医療センターを開設しております。

<地域のニーズに応える医療>

2016 年 1 月現在、3 病棟 115 床が精神科救急入院料病棟として稼働中であり、休日夜間の岐阜市精神科救急を引き受け、また岐阜県精神科救急輪番病院や応急指定病院であるため、豊富な精神科救急症例を経験することができます。

また認知症疾患医療センターとして①認知症に関する専属相談員による無料相談や、包括支援センター等の地域機関との連携 ②認知症診断及び初期対応を目的とした物忘れ外来の開催 ③専門病棟での BPSD の入院治療 ④研修会開

催や情報発信 といった様々な活動を活発に行っております。

＜良好な療養環境と豊富な人材群＞

上記精神科救急と認知症治療を 2 本の柱とした当院の臨床を支えるハード面では、電子カルテや CT、MRI などの検査体制を導入し、2006 年に完成した本館を中心として質の高い療養環境が整備されており、またソフト面では常勤精神保健指定医 14 名を含む精神科医師を中心として、各種認定看護師 9 名を含む

242

名の看護師、12 名の精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士、理学療法士などの高い専門性を誇るスタッフとのチーム医療体制が整っています。

＜社会復帰への多彩な試み＞

精神科の治療の中心が長期入院治療から社会復帰支援へシフトしていきつつある現在、当院では、大規模デイケアや訪問看護ステーションの整備に加えて、臨地の社会福祉法人【舟伏】が、地域活動支援センター、就労移行支援、生活訓練、短期入所事業などを行っており、地域に根差した多彩で包括的なケアを提供しています。

＜受け入れ態勢の強化＞

2006 年より日本神経精神学学会「精神科研修医制度研修施設」として認定され、認定看護師教育医療機関の実習施設としての活動も担っています。受入体制の指標となる年間の入院数も 720 名(2014 年実績)と東海地方では有数の水準を維持しております。

⑥ 施設名：犬山病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：高沢 悟
- ・指導責任者氏名：杉浦 琢
- ・指導医人数：(11) 人
- ・精神科病床数：(409) 床
- ・疾患別入院数・外来数 (年間)

疾患	外来患者数 (年間)	入院患者数 (年間)
F0	36	64
F1	22	30

F2	63	388
F3	167	119
F4 F50	93	16
F4 F7 F8 F9 F50	151	26
F6	1	3
その他	135	5

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

統合失調症、気分（感情）障害、不安症（不安障害）などの精神疾患を中心に急性期から退院後の社会復帰まで幅広く、地域に根差した精神科医療に取り組んでいる。また、犬山認知行動科学センターを設け、心理社会的療法も専門的に取り入れ、早期の回復につなげている。地域の精神科救急医療にも対応している。

⑦ 施設名：医療法人香風会 黒野病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：村田一郎
- ・指導責任者氏名：村田一郎
- ・指導医人数：（ 2 ） 人
- ・精神科病床数：（ 250 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	464	129
F1	22	6
F2	666	322
F3	223	26
F4 F50	116	17
F4 F7 F8 F9 F50	0	0
F6	11	3

その他	0	0
-----	---	---

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

岐阜市北東部に位置する当院は 10 病棟、定床 559 床を擁し、2010 年には岐阜県内で初めての精神科救急入院料病棟、2011 年には認知症疾患医療センターを開設しております。

⑧ 施設名：医療法人春陽会 慈恵中央病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：竹内巧治
- ・指導責任者氏名：竹内巧治
- ・指導医人数：（ 5 ） 人
- ・精神科病床数：（ 395 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	190	130
F1	20	40
F2	390	300
F3	190	20
F4 F50	165	10
F4 F7 F8 F9 F50	170	30
F6	13	5
その他	30	5

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

あらゆる精神障害の診断と治療、精神科救急、依存症、認知症、身体合併症治療、司法精神医学、社会復帰、地域医療など精神医療全般を経験することができる。

認知症疾患治療病棟、認知症疾患医療センターを持ち、今後の人口の高齢化に対応している。また地域生活支援センター、自立訓練施設、グループホームを併

設し地域医療・社会復帰に取り組んでいる。

⑨ 施設名：医療法人生仁会 須田病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：加藤秀明
- ・指導責任者氏名：近藤隆夫
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(311) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	745	159
F1	69	29
F2	489	264
F3	401	77
F4 F50	338	19
F4 F7 F8 F9 F50	257	48
F6	15	6
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は岐阜県飛騨地方（旧高山保健所）唯一の精神科入院機関なので、器質的疾患から心理社会的要因の強い病気の急性期から慢性期まで多様な精神疾患を診ている点が当院の最大の特徴である。また当院は併設施設として、社会復帰施設、デイケア、老健、認知症疾患医療センター、訪問看護ステーションなどを有し、当院は多職種によるチームとして当地方の精神科地域包括ケアの中心を担っている。

⑩ 施設名：社会医療法人聖泉会 聖十字病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：田伏英晶

- ・指導責任者氏名：田伏英晶
- ・指導医人数：（ 10 ）人
- ・精神科病床数：（ 289 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	14	56
F1	8	10
F2	219	281
F3	153	238
F4 F50	41	34
F4 F7 F8 F9 F50	43	26
F6	2	1
その他	177	7

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は昭和 38 年 2 月に土岐市泉町に開院した精神科病院である。昭和 52 年 4 月には通院の利便のため外来機能を病院から切り離し、J R 土岐市駅至近に聖十字クリニックを開院している。つまり聖十字病院で入院、救急対応、デイケアを、聖十字クリニックで外来を行っている。外来を長年クリニック形式で行っていた為、患者数は多く、また患者層も多様な精神疾患の軽症から重症例まで幅広く、専攻医は様々な症例を経験できる。

聖十字病院では精神科救急入院料 1 の病棟でハードな救急(主に措置、応急、医療保護入院などの非自発的入院に対応)を精神科急性期病棟 1 でソフトな救急(任意入院など自発的入院に対応し気分障害圏の患者が多い)に対応し地域の精神科救急を支えており、様々な入院症例を経験できる。また老人性認知症治療病棟 1 を有することから認知症の症例も豊富である。さらに地域の精神科クリニック、開業医、総合病院との連携も密であり病診・病病連携の経験もできる。

近年は長期入院患者の地域移行にも力を入れておりデイケア(地域色を生かし陶芸ルームも設置している)、訪問看護、地域活動センター(聖十字クリニック 2 階)、グループホームをはじめ、関連社会福祉法人内では自立訓練、夜間宿泊型訓練、就労移行事業(院内コンビニ等)を行っており、患者のリハビリを志向した様々な実践を知ることができる。外来部門である聖十字クリニックは 1 年間

の

診療実数が 2700 例以上あり、統合失調症、気分障害、不安障害を中心に幅広い症例を経験できるため、聖十字病院研修中に精神科研修として週 8 時間まで（午前半日を週 2 回など）勤務可能である。

また、笠原 嘉先生（名古屋大学名誉教授）、塩入俊樹先生（岐阜大学教授）のスーパーバイズによる症例カンファレンスを定期的に行っており、診立て・精神療法・薬物療法を学ぶ貴重な経験となる。

⑪ 施設名：静風会 大垣病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：田口真源
- ・指導責任者氏名：田口真源
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 305 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	984	108
F1	33	3
F2	1246	106
F3	1047	63
F4 F50	535	3
F4 F7 F8 F9 F50	642	7
F6	60	5
その他	110	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

精神科医療に関して基本的素養を有することにより、より一層、全人的医療の実践し得ることをプログラムの目的としています。

*精神科医療における法律（精神保健福祉法、入院形態など）

*高精神薬の使い方（抗精神病薬、抗うつ薬、抗躁薬、抗不安薬、抗てんかん薬、睡眠薬について、具体的処方方法を含めて講義）

- *急性精神病状態の初期治療（救急外来での対応を含めて）
 - *（術後）せん妄、ICU 症候群などへの対応
 - *認知症の診断と治療（認知症に伴う行動障害・精神症状に対する治療方法を含めて）
 - *うつ病、うつ状態の診断と治療（仮面うつ病を含めて）
- これらについて、適宜、実践的講義を行います。

⑫ 施設名 大湫病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：江口 研
- ・指導責任者氏名：戸崎 慎太郎
- ・指導医人数：（ 8 ）人
- ・精神科病床数：（ 308 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	731	82
F1	103	4
F2	364	152
F3	560	23
F4 F50	953	6
F4 F7 F8 F9 F50	521	1
F6	1	0
その他	464	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）
認知症疾患治療病棟（108床）、児童専門外来（東濃医療圏では唯一）があるので、通常の成人の精神疾患に加えて、児童・思春期から老年期まで幅広い症例の治療経験が可能である。

⑬ 施設名 南ひだ せせらぎ病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院

- ・ 院長名：笠原憲司
- ・ 指導責任者氏名：笠原憲司
- ・ 指導医人数：(2) 人
- ・ 精神科病床数：(143) 床
- ・ 疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	100	48
F1	17	7
F2	100	43
F3	67	28
F4 F50	18	9
F4 F7 F8 F9 F50	16	7
F6	17	8
その他	0	0

- ・ 施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

下呂市を中心とし、高山市・中津川市と中濃地域の一部を医療圏とした小規模単科病院である。

他地域への診療アクセスの不便さもあり、児童思春期から高齢期まで、そして地域の総合病院とのリエゾン対応など幅広い症例が経験できる。

その中で、高齢化が進んでいる地域として老年期うつ状態、各種認知症の困難症例への精神的対応が必要な機会が多い。

また、地域的にもコンパクトな診療圏の中で、2つの公的総合病院やかかりつけ医との連携は良好であり、福祉・介護施設との交流も活発で、地域精神医療の実践が可能である。

⑭ 施設名 医療法人清澄会 不破ノ関病院

- ・ 施設形態：私立単科精神科病院
- ・ 院長名：岩戸敏廣
- ・ 指導責任者氏名：武田憲明

- ・指導医人数：(4) 人
- ・精神科病床数：(307) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	40	16
F1	11	8
F2	256	243
F3	305	29
F4 F50	409	9
F4 F7 F8 F9 F50	48	1
F6	3	2
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、307床を有する地域医療に貢献する単科精神科病院である。一般臨床は無論のこと、精神科デイケア（大規模50名）・精神科作業療法を実施し、併設施設である障害福祉サービス事業所・特定相談支援事業所・グループホームを持ち、宿泊型自立訓練・生活訓練・就労支援B型・ショートステイを実施しているので、心理社会的療法・精神科リハビリテーション・地域精神医療福祉の経験が可能である。

⑮ 施設名 社会医療法人緑峰会 養南病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：関谷道晴
- ・指導責任者氏名：関谷道晴
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(176) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	272	34
F1	93	34
F2	1179	221
F3	1518	282
F4 F50	51	14
F4 F7 F8 F9 F50	307	41
F6	21	5
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は178床の比較的小規模な精神科単科の病院です。①外来・入院にて気分障害の集団認知行動療法を行なっています。全室個室のストレスケア病棟を有しており、外来においてはリワークプログラムをデイケアで行っており、気分障害の治療、復職支援にも力を入れています。②ストレスケア病棟は急性期治療病棟を兼ねており、時間外の受診数が多いため、統合失調症の急性期など多彩な症例を多数経験できます。統合失調症の心理教育プログラムを行っています。③大規模デイケアを2つと訪問看護専任スタッフ5名の体制を整えており、在宅支援が充実しています。アパートと入所施設もあります。④精神科療養病棟を2つ有しており、慢性期から退院支援まで経験できます。⑤常勤の臨床心理士が6名おり神経症性障害の症例も多いです。⑥アルコール治療プログラムがあります。⑦毎週院内勉強会を開催し、各部署のスタッフが研究や発表を行なっています。

⑩ 施設名：聖十字クリニック

- ・施設形態：私的単科精神科病院
- ・院長名：村上 俊二
- ・指導責任者氏名：村上 俊二
- ・指導医人数：(9) 人
- ・精神科病床数：(0) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	39	0
F1	22	0
F2	751	0
F3	1588	0
F4 F50	192	0
F4 F7 F8 F9 F50	541	0
F6	6	0
その他	255	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

聖十字クリニックは、通院に便利なJR土岐市駅周辺で外来を行って欲しいという患者の要望を受け、昭和52年4月より病院から外来機能を切り離し、駅至近のビルの2階で聖十字クリニックを開院した。その後平成17年8月にその筋向いに2階建てビルを新設し、1階に移転した。2階には精神障害者地域生活支援センター（現在の地域活動支援センター指定特定一般相談支援事業所）を新規開所した。精神科病院の外来機能を長年クリニック形式で行っていた為、患者数は多く、また患者層も多様な精神疾患の軽症から重症例まで幅広く、専攻医は様々な症例を経験できる。またクリニック形式をとっているが2階には相談事業所もあるため、様々な福祉的な相談にも対応可能である。

3. 研修プログラム

1) 年次到達目標

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳にしたがって専門知識を習得する。研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。1.患者及び家族との面接、2.疾患概念の病態の理解、3.診断と治療計画、4.補助検査法、5.薬物・身体療法、6.精神療法、7.心理社会的療法など、8.精神科救急、9.リエゾン・コンサルテーション精神医学、10.法と精神医学、11.災害精神医学、12.医の倫理、13.安全管理。各年次毎の到達目標は以下の通りである。

到達目標

1年目：基幹病院または連携病院で、指導医と一緒に患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。とくに面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持する

ことを学ぶ。院内研究会や学会で発表・討論する。

2年目：基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けつつ、自立して、面接の仕方を深め、診断と治療計画の能力を充実させ、薬物療法の技法を向上させ、精神療法として認知行動療法と力動的な精神療法の基本的考え方と技法を学ぶ。精神科救急に従事して対応の仕方を学ぶ。院内研究会や学会で発表・討論する。

3年目：指導医から自立して診療できるようにする。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択する。認知行動療法や力動的な精神療法を上級者の指導の下に実践する。心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学ぶ。外部の学会・研究会などで積極的に症例発表する。

2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」（別紙）、「研修記録簿」（別紙）を参照。

3) 個別項目について

① 倫理性・社会性基幹

基幹施設において他科の専攻医とともに研修会が実施される。コンサルテーションリエゾンを通して身体科との連携を持つことによって医師としての責任や社会性、倫理観などについても多くの先輩や他の医療スタッフからも学ぶ機会を得ることができる。

② 学問的姿勢

専攻医は医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽自己学習することが求められる。すべての研修期間を通じて与えられた症例を院内の症例検討会で発表することを基本とし、その過程で過去の類似症例を文献的に調査するなどの姿勢を心がける。その中で特に興味ある症例については、地方会等での発表や学内誌などへの投稿を進める。

③ コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じて、1) 患者関係の構築、2) チーム医療の実践、3) 安全管理、4) 症例プレゼンテーション技術、5) 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解、を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、リエゾンコンサルテーションといった精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

④ 学術活動（学会発表、論文の執筆等）

基幹施設において、臨床研究、基礎研究に従事しその成果を学会や論文として発表する。

4) ローテーションモデル

典型的には1年目に基幹病院である岐阜大学医学部附属病院をローテートし、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目には連携施設である総合病院精神科（岐阜市民病院）、単科精神科病院（その他の連携病院）を半年～1年ずつローテートし、多様な症例を幅広く経験し、薬物療法、精神療法を主体とする治療手技、生物学的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めていく。スーパー救急、依存症、認知症治療、ストレスケアなど、連携施設ごとに特色があり、これら3年間のローテートについては、本人の希望に応じて柔軟な対応が可能である（別紙1参照）。

5) 研修の週間・年間計画

別紙2と別紙3を参照。

4. プログラム管理体制について

・プログラム管理委員会

委員長，医師：深尾 琢

看護師：中口節子

精神保健福祉士：山本恭孝

医師：児玉佳也

医師：天野雄平

医師：柴田明彦

医師：大野智裕

医師：吉田 優

医師：杉浦 琢

医師：村田一郎

医師：竹内巧治

医師：近藤隆夫

医師：田伏英晶

医師：田口真源

医師：戸崎慎太郎

医師：笠原憲司

医師：武田憲明

医師：関谷道晴

医師：村上俊仁

・プログラム統括責任者

深尾 琢

・連携施設における委員会組織

各連携病院の指導責任者によって構成される。

5. 評価について

1) 評価体制

専攻医に対する指導内容は、統一された専門研修記録簿に時系列で記載して、専攻医と情報を共有するとともに、プログラム統括責任者（深尾 琢）およびプログラム管理委員会（4に記載したメンバー）で定期的に評価し、改善を行う。

2) 評価時期と評価方法

- ・ 3か月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。
- ・ 研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ6ヶ月ごとに評価し、フィードバックする。
- ・ 1年後に1年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出する。
- ・ その際の専攻医の研修実績および評価には研究記録簿／システムを用いる。

3) 研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿」（別紙）に研修実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年1回おこなう。

岐阜大学病院にて専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）、研修実績、研修評価を保管する。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導医マニュアルを用いる。

- 専攻医研修マニュアル（別紙）
- 指導医マニュアル（別紙）
- ・ 専攻医研修実績記録

「研修記録簿」に研修実績を記録し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価をおこない記録する。少なくとも年に1回は形成的評価により、指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的自己評価をおこなう

こと。研修を修了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。

・指導医による指導とフィードバックの記録

専攻医自身が自分の達成度評価をおこない、指導医も形成的評価をおこない記録する。少なくとも年1回は指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的評価をおこない評価者は「劣る」、「やや劣る」の評価をつけた項目については必ず改善のためのフィードバックをおこない記録し、翌年度の研修に役立たせる。

6. 全体の管理運営体制

1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）

各施設の労務管理基準に準拠する。

2) 専攻医の心身の健康管理

各施設の健康管理基準に準拠する。

3) プログラムの改善・改良

基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。

4) FDの計画・実施

年1回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。

別紙1 専門研修システム
岐阜大学病院

	2年	3年	4年	5年
例1:	大 学	総合病院	精神科 単科病院	
例2:	総合病院	大 学	精神科 単科病院	
例3:	総合病院	精神科 単科病院	大 学	
例4:	大 学	総合病院		
	←	後期研修期間		
	→			

注)

- ◆他大学・他施設での卒後研修終了者、および他科経験医を積極的に受け入れます。(年齢、経験年数等は不問)
- ◆後期研修期間終了後に、精神保健指定医(医師5年以上、うち精神科医3年以上)の取得が可能です。
- ◆上記以外のシステムも相談可(例えば、国内・海外での研修や留学など)

別紙2 週間スケジュール

岐阜大学病院

	月	火	水	木	金
午前	初診予診・ 外来・ 病棟診療	外勤	初診予診・ 外来・ 病棟診療	初診予診・ 外来・ 病棟診療	初診予診・ 外来・ 病棟診療
午後	教授回診・ 病棟診療・ 医局会	外勤	輪読会・ 病棟診療	病棟診療・ 電気けいれ ん療法	病棟診療

*外来は1年目週1回、2年目以降は週2回あり、主に入院で担当となった患者の再診を行う。外来曜日以外の午前は初診の予診を初期研修医、学生らと行い、指導医による本診の見学をする。

※いずれの施設においても、就業時間が40時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。原則として、40時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

別紙2 週間スケジュール

①のぞみの丘ホスピタル

	月	火	水	木	金	土
8:30- 9:00	外来診察	外来初診	病棟業務	公休	カンファ	カンファ
9:00- 12:00	外来診察	外来初診	病棟業務	公休	院長併診	病棟業務
13:00- 17:15	外来診察	医局会 職場連絡会 病棟診察	病棟業務	公休	院長併診	病棟業務

別紙2 週間スケジュール

②各務原病院

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来	外来	ケースレポート作成
	第1週目：外来見学 第2週目以降：予診・再診				
午後	病棟 新患カンファ ミニレクチャー	病棟 新患・2週目 カンファ SST	病棟 抄読会 ミニレクチャー	病棟 ケースレポート作成	病棟 リエゾンカンファ ケースカンファ
	第1週目：病棟見学、精神科臨床・総論、精神症状の診断、 精神科における治療（精神療法・薬物療法） 第2週目以降：副主治医として入院患者を担当				

※入院、外来患者とも、各週ごとに木曜日から金曜日にかけてレポートを作成し、金曜日午後にケースカンファレンスを行う。

別紙2 週間スケジュール

③岐阜市民病院

	月	火	水	木	金
8 : 30 -12 : 00	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン
13 : 00 -17 : 00	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務 デイケア検 討会	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務
17 : 00 -18 : 30		医局会 症例検討会			論文 輪読会

別紙2 週間スケジュール

④岐阜南病院

	月	火	水	木	金
9:30 -12:00	外来診療 (新患)	外来診療 (再診)	院長回診 (病棟)	外来診療 (新患)	外来診療 (再診)
13:30 -17:00	症例検討会 病棟診療	検査(脳波) 病棟診療	病棟診療	抄読会 医局カンファ	病棟診療 クルズス

別紙2 週間スケジュール

⑤公益社団法人 岐阜病院

	月	火	水	木	金
9 : 00 -12 : 00	外来業務	病棟業務	外来業務	外来業務	病棟業務
13 : 00 -17 : 00	病棟業務	病棟業務	外来業務	医局会 研究会 病棟業務	病棟業務

別紙2 週間スケジュール

⑥医療法人桜桂会 犬山病院

	月	火	水	金	土
午前	外来・ 病棟診療	外来・ 病棟診療	外来・ 病棟診療	外来・ 病棟診療	外来・ 病棟診療
午後	外来・ 病棟診療	病棟診療 クルズス 医局 カンファ	外来・ 病棟診療	病棟診療 クルズス	外来・ 病棟診療 アルコール ミーティング (PSW 同席)

別紙2 週間スケジュール

⑦黒野病院

	月	火	水	木	金
9:00 -9:30	外来予診	外来予診	外来予診	外来予診	外来予診
9:00 -12:00	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務
13:00 -17:00	病棟業務	病棟業務 カンファ	病棟業務	病棟業務	病棟業務 カンファ

別紙2 週間スケジュール

⑧慈恵中央病院

	月	火	水	木	金	土
8:30 -12:00	病棟業務	病棟業務	外来 (新患)	デイケア	外来 (再診)	病棟業務
12:30 -13:00		勉強会				
13:00 -16:00	病棟業務	病棟業務 断酒会等	病棟業務	病棟業務 施設業務	病棟業務	病棟業務
16:00 -17:15	症例検討	講義	他職種 連携			

別紙2 週間スケジュール

⑨須田病院

	月	火	水	木	金
8:30— 9:00			病院全体 申し送り		
9:00— 12:00	外来予診	再診	外来予診 初診	再診	病棟業務
13:00— 16:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	院長回診
16:00— 18:00	チーム カンファ	医局 カンファ	病棟	チーム カンファ	医局会
18:00— 20:00					医局勉強会

別紙2 週間スケジュール

⑩聖十字病院

	月	火	木	金	土
8:30— 12:30	病棟業務 9:10—9:20 (病床稼働会議)	外来業務	外来業務	病棟業務 9:10—9:20 (病床稼働会議)	病棟業務
13:30— 17:30	病棟業務 (2ヶ月に一度) 14:00—16:00 症例カンファ	病棟業務 (第1、3 13:30—14:30 診療部会議・医局会議) (1ヶ月に2回 15:00—17:00 症例カンファ)	病棟業務	病棟業務	病棟業務

別紙2 週間スケジュール

⑪大垣病院

	月	火	水	木	金
午 前	外来 (1診)	外来 (1診)	外来 (1診)	外来 (1診)	外来 (1診)
午 後	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
時間外	オリエン テーション	カンファ	オリエン テーション	カンファ	カンファ

別紙2 週間スケジュール

⑫大湫病院

	月	火	水	木	金	土
9:00-	入院診療	入院診療		入院診療	入院診療	
13:30-			外来診療			入院診療
13:45-		病棟カンファ		退院支援委員会、医局会 (第1週)	病棟カンファ	
14:00-	入院診療	入院診療	入院診療	行動制限 最小化委員会 (第2週)	入院診療	入院診療
15:00-				入院診療		

* 児童精神医学の研修希望者は、児童専門外来（初診）のある水曜日（AM、PM）、木曜日（AM、PM）に、見学や診療業務が可能です。

別紙2 週間スケジュール

⑬南ひだせせらぎ病院

	月	火	水	木	金
8:30 -12:00	病棟業務	外来業務 (予診・陪 席・再来)	病棟業務	外来業務 (予診・陪 席・再来)	病棟業務
13:00 -17:00	精神科 デイケア業務	病棟業務	医局会 各種会議 症例検討会	病棟業務	訪問看護業務 地域精神保 健相談業務 グループ ホーム業務

別紙2 週間スケジュール

⑭不破ノ関病院

	月	火	水	木	金	土
8:40- 9:00	モーニング カンファ	モーニング カンファ	モーニング カンファ	モーニング カンファ	モーニング カンファ	モーニング カンファ
9:00- 12:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
13:00- 16:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
16:00- 17:00	症例 検討会	入退院 カンファ	医局会	病棟業務	病棟業務	病棟業務
17:00- 18:00					研修会	

別紙2 週間スケジュール

⑮社会医療法人緑峰会 養南病院

	月	火	水	木	金	土
8:30— 9:00	ミーティング	ミーティング	休 診 日	ミーティング	ミーティング	ミーティング
9:00— 12:30	病棟業務 外来業務 集団認知 行動療法 (7~8月)	病棟業務 外来業務		病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務 チームカンファ
13:30— 16:00	病棟業務	病棟業務 統合失調 症の心理 教育(4月)		病棟業務	病棟業務 アルコール治療 プログラム (11~12 月)	病棟業務 ケア業務
16:00— 17:00	病棟業務	病棟業務		医局カンファ	病棟業務	病棟業務

別紙2 週間スケジュール

⑩聖十字クリニック

	月	火	水	木	金	土
8:30 S 12:30	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務
13:30 S 17:30	症例検討	症例検討		症例検討	症例検討	

別紙3 年間スケジュール

岐阜大学病院

4月	関連病院見学
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」開催
10月	日本児童青年精神医学会総会参加
11月	日本総合病院精神医学会総会参加
12月	
1月	
2月	東海精神神経学会
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」開催

別紙3 年間スケジュール

①のぞみの丘ホスピタル

4月	
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加
7月	
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	日本精神科医学会参加 日本精神病理学会参加
11月	
12月	日本認知症学会学術総会参加
1月	地方精神神経学会
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加

別紙3 年間スケジュール

②各務原病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	
8月	
9月	日本精神神経医学会参加 岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	日本児童青年精神医学会総会参加（任意）日本てんかん学会参加（任意） 日本アルコール・ アディクション医学会参加（任意）
11月	アルコール啓発週間シンポジウム参加
12月	日本認知症学会学術集会参加
1月	
2月	日本アルコール関連問題学会東海北陸地方会参加
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 研修プログラム評価報告書作成

その他、医師会開催の『医療倫理』、『感染対策』、『医療安全』等の研修会に参加

別紙3 年間スケジュール

③岐阜市民病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	市民公開講座 発表
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	日本児童青年精神医学会総会参加（任意） 日本デイケア学会参加（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 研修プログラム評価報告書の作成

別紙3 年間スケジュール

④岐阜南病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本産業保健精神医学会参加（任意）
7月	
8月	日本精神科診断学会参加（任意）
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	日本精神科救急学会参加（任意）
11月	日本精神科病院医学会学術大会参加（任意）
12月	岐阜大学集談会参加
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 研修プログラム評価報告書の作成

別紙3 年間スケジュール

⑤公益社団法人 岐阜病院

4月	オリエンテーション
5月	CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	地域精神医学セミナー
11月	
12月	日本精神科救急学会参加
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加

別紙3 年間スケジュール

⑥医療法人桜桂会 犬山病院

4月	オリエンテーション
5月	桜桂会学会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	認知行動療法に関する講演会参加
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	
11月	日本精神科医学会学術大会参加
12月	認知行動療法に関する講演会参加
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加

別紙3 年間スケジュール

⑦黒野病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	
11月	地方精神神経学会参加
12月	
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加

別紙3 年間スケジュール

⑧慈恵中央病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	
8月	
9月	日本生物学的精神医学会参加（任意） 日本神経精神薬理学会参加（任意）岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	日本アルコール関連問題学会参加（任意）
11月	日本精神科病院協会・日本精神科医学会学術大会参加
12月	
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加

別紙3 年間スケジュール

⑨須田病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	地方精神神経学会参加・演題発表
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加

別紙3 年間スケジュール表

⑩聖十字病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会参加(任意)
7月	
8月	症例カンファレンス発表
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	
11月	
12月	症例カンファレンス発表
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 症例カンファレンス発表

別紙3 年間スケジュール

⑪大垣病院

4月	オリエンテーション SR1：研修開始 SR2・3：前年研修継続
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加（必須） 日本老年医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	日本児童青年医学会参加（任意） 日本認知・行動療法学会参加（任意）
11月	
12月	研修プログラム管理委員会開催（院内）
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 日本統合失調症学会（任意）

別紙3 年間スケジュール

⑫大湫病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術集会参加
7月	
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 研修プログラム評価報告書の作成

*精神神経学会に加えて、興味のある学会への参加、東海精神神経学会（年2回）への参加。その他、知識・技術向上のための研修会への参加。

別紙3 年間スケジュール

⑬南ひだ せせらぎ病院

4月	オリエンテーション・研修開始・指導医の指導実績報告	地区医師会講演会
5月		地区医師会講演会
6月	日本精神神経学会学術総会	地区医師会講演会
7月	地方精神神経学会	地区医師会講演会
8月		地区医師会講演会
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加	地区医師会講演会
10月	研修中間報告書提出	地区医師会講演会
11月	地方精神神経学会	地区医師会講演会
12月	研修プログラム管理委員会	地区医師会講演会
1月		地区医師会講演会
2月	地方精神神経学会演題発表	地区医師会講演会
3月	研修報告書・研修プログラム評価報告書の作成・ 岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加	地区医師会講演会

別紙3 年間スケジュール

⑭不破ノ関病院

4月	
5月	県精神科病院協議会研修会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	県精神病科院協議会研修会参加
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	
11月	県精神科病院協議会研修会参加 地方精神神経学会参加・演題発表 地区認知症連携検討会参加
12月	
1月	地区うつ病医療連携症例検討会参加
2月	
3月	県精神科病院協議会研修会参加 岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 院内看護研究発表会参加

別紙3 年間スケジュール

⑮社会医療法人緑峰会 養南病院

4月	オリエンテーション 統合失調症の家族教室参加	統合失調症の心理教育参加
5月	デイケアに参加 気分障害の家族教室参加	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 護 統合失調症の家族教室参加	訪問看
7月	集団認知行動療法 気分障害の家族教室参加	
8月	集団認知行動療法 統合失調症の家族教室参加	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加 ぶ 気分障害の家族教室参加	オレンジハイツで学
10月	日本ストレスケア病棟研究会・アルコール薬物依存関連学会参加(任意) 日本児童青年精神医学会参加(任意) 参加	統合失調症の家族教室参
11月	アルコールリハビリプログラム 気分障害の家族教室参加	
12月	アルコールリハビリプログラム 統合失調症の家族教室参加	
1月	救急当番の当直に2回参加 気分障害の家族教室参加	
2月	救急当番の当直に2回参加 統合失調症の家族教室参加	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 に参加 気分障害の家族教室参加 価	デイケア 総括的評

別紙3 年間スケジュール

⑩聖十字クリニック

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会参加（任意）
7月	症例カンファレンス発表
8月	
9月	
10月	
11月	症例カンファレンス発表
12月	
1月	
2月	
3月	症例カンファレンス発表